

| 取り組む施策 | | 8年後の姿 | 現状と課題 | 各主体の取り組み | 市の施策展開 | |
|--|--|--|--|--|--------------------------|---|
| 環境教育と協働の推進 ～市民一ひとりがあらゆる場面で環境に関わり、考える機会を持つことにより、市全体の環境意識が向上し、環境配慮行動が持続的に実践され、環境保全の取り組みが脈々と受け継がれていく環境意識の高いまち～ | | ・たくさんの市民が環境に関わり、環境のことを考える機会が増えています。 ・市民一人ひとりの環境に対する意識が向上しています。 ・環境に配慮した行動が実践できています。 ・環境保全活動が次の世代に引き継がれ、多くの担い手が育てられています。 | ・学校・地域での環境教育の充実 ・環境教育に関する情報発信 ・地域団体等の活動支援 ・国際的な視点に立った取組の推進 | 【市民】 ・環境問題に関心を持つ ・積極的な情報収集 ・環境学習会などへの参加 ・環境行動の実践 【事業者】 ・研修会などの実施 ・積極的な情報収集・情報発信 ・技術協力などを通じた域外貢献 | (1)環境ひとづくり | ・学校などにおける環境教育の推進 ・地域社会における環境教育の推進 |
| | | | | | (2)市民との協働 | ・市民、市民団体、学校、事業者などの協働の環境づくり ・地域コミュニティ活動の活性化 ・情報の共有化 |
| | | | | | (3)国際協力の推進 | ・国際協力の推進 ・国際条約などへの参加 |
| 低炭素社会の創造 ～都市と田園が調和した持続可能な発展のもとに、再生可能エネルギーの普及やエネルギーの利用効率化が進み、過度な自動車依存からの脱却やライフスタイルの転換などにより化石燃料の使用が必要最小限なまち～ | | ・都市と田園が調和した持続可能なまちとして発展しています。 ・再生可能エネルギーの普及やエネルギーの効率的利用が進んでいます。 ・徒歩や自転車での移動がしやすく、公共交通など環境に配慮した交通システムが充実しています。 ・低炭素型のライフスタイルが定着し、温室効果ガスの排出が少ない社会になっています。 | ・就業者の減少や耕作放棄地の拡大が続く農業の経営基盤強化と環境負荷低減のための農法改善 ・東日本大震災を契機とした安心・安全なエネルギー導入要請への対応 ・二酸化炭素の排出量が他の政令市と比較して高い家庭部門や運輸部門における対策の推進 | 【市民】 ・田園環境の保全活動などへの積極的参加 ・再生可能エネルギー設備の導入や、省エネ機器への買換え ・移動手段の低炭素化 ・省エネ行動の実践 【事業者】 ・環境保全に配慮した経営 ・再生可能エネルギー設備の導入や、省エネ設備への買換え ・人・物の移動にかかる低炭素化 ・省エネ行動の実践 | (1)田園環境の保全・持続可能な利用 | ・環境保全型農業と農業の低炭素化の推進 ・田園資源の有効活用 ・バイオマス資源の持続可能な利用 ・都市と田園の交流促進 ・市街地をやさしく包み込む田園環境の保全 ・コンパクトなまちづくりの推進 ・緑化の推進 |
| | | | | | (2)スマートエネルギーシティの構築 | ・地域特性を活かした再生可能エネルギー・省エネルギーの推進 ・未利用エネルギーの活用推進 ・エネルギーマネジメントシステムの推進 ・バイオマス利活用の推進 ・ヒートアイランド対策 |
| | | | | | (3)低炭素型交通への転換 | ・公共交通網の再構築 ・モビリティの低炭素シフト ・グリーン物流の推進 |
| | | | | | (4)低炭素型ライフスタイルへの転換 | ・低炭素社会への人づくり ・廃棄物の削減と資源循環型社会の構築 ・健康都市づくり(スマートウェルネシティ)の推進 ・市の率先行動 |
| 循環型社会の創造 ～市民・事業者・市の協働のもと、3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用))の優先順位で資源が循環利用されるまち～ | | ・市民一人ひとりに3Rの認識が浸透し、ごみをできるだけ出さないライフスタイルが定着しています。 ・ごみ分別による資源化が進み、その効果が理解されるとともに、分別することがあたりまえのことになっています。 | ・家庭系ごみの更なる減量及びリサイクルの推進 ・事業系ごみの更なる減量及びリサイクルの推進 | 【市民】 ・ごみを出さないライフスタイルへの見直し ・ごみの減量化・資源化に向けた取り組みへの協力 ・地域の集団資源回収や美化活動への積極的参加 【事業者】 ・生産・流津・販売等の段階におけるごみを生まない工夫 ・可能な範囲での地域活動への協力 ・ごみを出さない、できるだけ資源化する事業活動を推進 ・ごみの減量化・適正処理に向けた取り組みへの協力 | (1)家庭系ごみを減らす3R運動の推進と三者協働 | ・制度の周知と分別の徹底 ・意識啓発・環境教育の推進 ・3R・生ごみ減量の推進 ・市民・事業者・市の協働した体制づくり |
| | | | | | (2)事業系ごみの排出抑制と資源化の推進 | ・制度の周知徹底 ・排出事業者のごみ減量への動機付け ・分別及び資源化の促進に向けた誘導 ・産業廃棄物の混合防止 |
| | | | | | (3)違反ごみ対策ときれいなまちづくりの推進 | ・ごみ集積場における違反ごみ対策 ・ごみ・資源物のごみ集積場からの持ち去り行為の禁止に係る周知及び取締り ・地域と連携した美化活動・ぼい捨て等防止活動の推進 |
| | | | | | (4)収集・処理体制の整備 | ・安定的かつ効率的な収集運搬体制の構築 ・効率的な適正処理・処分の実施 ・廃棄物処理施設のあり方の検討 ・大規模災害に備えた事前の体制整備 |
| 生物多様性の保全 ～まちを包み込む多様な自然環境が適切に守られ、生物が生き生きとしているとともに、田園を守るべき自然環境の一部と捉え、持続可能な発展を遂げているまち～ | | ・自然環境の保全がすすみ、人と野生の生きものが共存しています。 ・生物多様性に配慮した農地整備がすすんでいるとともに、里山・里潟・田園資源の活用など、環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業が広がっています。 ・市民が「食と花」を通して、農業や生物多様性の大切さを認識しています。 | ・多種多様な要素を持つ自然環境の保全 ・人の活動や地球環境の変化による生物多様性の危機への対応 | 【市民】 ・自然観察会や自然体験イベントなどへの積極的参加 ・生物多様性に配慮した生活 ・将来を担う子どもたちへの伝承 【事業者】 ・社会貢献活動の実施 ・生物多様性の保全に配慮した事業活動 | (1)在来動植物の生息・生育環境の保全・再生 | ・在来動植物の保全 ・動植物の生息・生育環境の保全 ・動植物の生息・生育情報の収集・蓄積 |
| | | | | | (2)自然環境の持続可能な利用の推進 | ・生物多様性の保全に配慮した暮らしづくり ・事業者などへの生物多様性の保全に配慮した事業活動の推進 |
| | | | | | (3)人材育成・協働の推進 | 「環境教育と協働の推進」において位置付け |
| | | | | | (4)地球温暖化防止などの推進 | 「低炭素社会の創造」において位置付け |
| 快適な生活環境の保全 ～おいしい空気ときれいな水に包まれ、手入れの行き届いた花と緑にあふれた、市内外の人にとって魅力的なまち～ | | ・歩いて楽しい魅力的なまちなみになっています。 ・花や緑があふれ、きれいなまちになっています。 ・ごみがなく、きれいな水環境や快適な空気が保たれています。 | ・新たな環境基準項目への対応や、基準未達成項目の対応と原因究明 ・良好な景観の維持 ・歴史・文化遺産の保存活用や調査研究 ・自主防災組織の結成や災害対応インフラの整備 | 【市民】 ・生活環境に配慮したライフスタイルへの転換 ・景観への配慮 ・歴史・文化への関心 ・「自助」の力を高め、地域防災の取り組みの参加 ・ユニバーサルデザインに配慮した行動 【事業者】 ・公害対策の徹底 ・事業実施前における環境影響評価 ・事業場の外観や看板など、景観への配慮 ・歴史・文化への配慮 ・災害発生時への準備 ・ユニバーサルデザインの視点に立った事業者行動 | (1)環境負荷の抑制 | ・大気環境の保全 ・水環境の保全 ・音環境の保全 ・土壌・地盤環境の保全 ・有害化学物質による環境汚染の防止 ・監視体制の充実 ・移動しやすい交通環境の実現 |
| | | | | | (2)良好な景観の形成 | ・地域固有の景観特性に応じた景観形成 ・市民による景観形成 |
| | | | | | (3)歴史・文化遺産の継承と活用 | ・歴史・文化遺産の継承と活用 |
| | | | | | (4)自然災害への適応 | ・災害予防対策の充実 ・災害応急対策の充実 ・災害に強い社会基盤整備 |
| | | | | | (5)環境保全のための事前配慮の推進 | ・環境保全のための事前配慮 ・小規模開発による事前配慮 ・環境情報の整備提供 ・ユニバーサルデザインの推進 |